

認定NPO法人シーズネット非常勤役員の寄稿

＜2026年4月号～2027年3月号まで、外部役員7名の方々からの寄稿文を掲載します＞

日本の介護は、2040年に向けて大きな課題に直面しています。85歳以上の高齢者の方は今後も増え続ける一方で、支え手となる現役世代は減少し、介護職員の不足は、これからさらに深刻になると考えられています。こうした状況の中、介護保険制度では「限られた人材で、いかに必要な介護を支えていくか」が、重要なテーマとなっています。この課題を解決するための大切なポイントの一つが、「生産性の向上」です。

「介護の生産性」と聞くと、少しなじみにくく感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、ICT（情報通信技術）を活用して記録や情報共有を効率よく行ったり、日々の業務を見直したりすることで、介護職員が本来大切にしたい「人に向き合うケア」に、より集中できる環境を整えることが求められています。これからの介護は、ただ介護をする人の数を増やすということだけではなく、働き方を工夫し、介護の仕事にやりがいや誇りを持てる職場をつくっていくことが、ますます重要になってくると感じています。

もう一つの大切な視点が、地域の高齢者のみなさん自身の活躍です。介護は「支えられる側」だけのものではありません。高齢者の方が、生活支援や介護の仕事の一部を担うことで、社会とのつながりを持ち、生きがいを感じる場にもなっています。地域で支え合い、それぞれが無理のない範囲で役割を分かち合うことは、介護人材不足への現実的な対応につながります。そして、それが誰もが安心して歳を重ねていける社会づくりへと結びついていきます。週に数日、短時間から関わることも可能です。

理事 細田 高

(今回は、理事 小野寺 さゆみさんです)



サークル間リレー



(245) 「グラウンド・ゴルフ倶楽部」

グラウンド・ゴルフにトマリという言葉があります。考案された鳥取県泊村（現湯梨浜町）にちなんで打ったボールがホールポストに入って止まった時に呼びます。グラウンド・ゴルフは遊びや楽しみをそして仲間と気分よくプレーすることを大切にしています。環境に応じたローカルルールでプレーすることができるのです。

次号は(246)「健康麻雀サークル」

編集後記

ゴールデンウィークも終り、そして進学・就職と環境が変わった方々も2ヵ月が過ぎ新しい環境に慣れてきたころでしょうか？多くの人達が待ち焦がれていたと思われる桜。今年は例年にない早い開花・満開となりましたが、皆様は楽しむ事ができたでしょうか。桜前線は沖縄をスタートし、約4ヵ月で道内の最終地点（釧路・網走）に到達したのは5月3日のようでした。これも平均気温の上昇や地球温暖化によるものでしょうか？

一方、中東での戦争は全世界の人達を恐怖に陥れる状況になってしまいました。一般家庭はもちろん、医療機関や飲食業界などあらゆる職種の方々に悪影響を及ぼしています。一日でも早く安全で住みやすい世界になりたいものです。

(大西 記)

QRコードを活用してシーズネット
ホームページをご覧ください。



会員数 (4月末現在)

総数：710名(旭川支部207名/函館支部69名)

- | | | |
|-------------|---|-----|
| ・正会員：69名 | 男 | 188 |
| ・賛助会員：634名 | 女 | 515 |
| ・団体会員：7名 | | 703 |
| ・平均年齢：76.5歳 | | |

シーズネット通信6月号 <<通巻294>>

2026年（令和8年）6月1日発行

発行責任者 奥田 龍人

発行所 認定NPO法人シーズネット広報課

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1番地SCビル2階

TEL:011-717-6001 FAX:011-717-6002

AM10:00～PM4:00 土・日・祝・年末年始 休み

e-mail : seedsnet@abelia.ocn.ne.jp

URL : http://www.seedsnet.gr.jp

広報専用e-mail : koho@seedsnet.gr.jp